

事務事業名	夏祭り支援事業			担当	産業部 商工観光課 観光係		
政策名	E	地域と産業が調和する活力あるまちづくり			増補版施策名		
施策名	4	観光の振興			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業		
関連個別計画	真岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ	
法令根拠						<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 昭和28 年度～）	
予算科目	1. 一般会計	7. 商工費	1. 商工費	3. 観光費		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）	
事業概要	夏祭りを主催する夏祭町会連合会と夏祭り実行委員会を支援する。 真岡市の夏祭りは町会連合会を主体に真組・真若及び各町会若が実行委員会を組織して3日間実施し、1日目は宮出し・町会渡し、2日目は花火大会、3日目はお祭り広場を開催していた。 平成17年から夏祭りを更に飛躍するために、お祭り広場を花火大会と同じ土曜日に、田町の十字路を中心とした場所に固定して実施した。お祭り広場には、屋台・山車9台、神輿14基、子ども神輿、地域神輿が一堂に会して神輿渡御とぶっつけで華を添えている。 平成20年度より最終日の3日目は火と太鼓と勇壮なる神輿・山車の渡御を融合した「ザ・ファイナル」が開催される。						

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 29年度実績 夏祭町会連合会総会資料の作成、夏祭り実行委員会の会議資料作成と関係機関等への申請事務及び通知発送事務、補助金の交付等 30年度計画 29年度と同様。 お祭り広場が固定されてから、行屋川から西の地区（台町・並木町）が当番町会となった場合に地元での賑わいを創出するため独自のイベントを開催している。H30は並木町が当番であるため、運営補助金5.0万円を増地している。	⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移																																																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>26年度(実績)</th> <th>27年度(実績)</th> <th>28年度(実績)</th> <th>29年度(実績)</th> <th>30年度(見込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 夏祭り関係会議開催日数</td> <td>日</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>イ 補助金額</td> <td>千円</td> <td>7,800</td> <td>6,950</td> <td>7,206</td> <td>6,450</td> <td>6,450</td> </tr> <tr> <td>ウ 当番町会イベント開催費補助金</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>500</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>500</td> </tr> <tr> <td>エ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>オ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							名称	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)	ア 夏祭り関係会議開催日数	日	15	15	15	15	15	イ 補助金額	千円	7,800	6,950	7,206	6,450	6,450	ウ 当番町会イベント開催費補助金	千円	0	500	0	0	500	エ							オ						
	名称	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)																																										
	ア 夏祭り関係会議開催日数	日	15	15	15	15	15																																										
	イ 補助金額	千円	7,800	6,950	7,206	6,450	6,450																																										
ウ 当番町会イベント開催費補助金	千円	0	500	0	0	500																																											
エ																																																	
オ																																																	
⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移																																																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>26年度(実績)</th> <th>27年度(実績)</th> <th>28年度(実績)</th> <th>29年度(実績)</th> <th>30年度(見込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 夏祭町会連合会会員数</td> <td>人</td> <td>55</td> <td>55</td> <td>55</td> <td>55</td> <td>55</td> </tr> <tr> <td>イ 夏祭り実行委員会会員数</td> <td>人</td> <td>35</td> <td>35</td> <td>35</td> <td>35</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>エ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>オ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							名称	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)	ア 夏祭町会連合会会員数	人	55	55	55	55	55	イ 夏祭り実行委員会会員数	人	35	35	35	35	35	ウ							エ							オ							
名称	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)																																											
ア 夏祭町会連合会会員数	人	55	55	55	55	55																																											
イ 夏祭り実行委員会会員数	人	35	35	35	35	35																																											
ウ																																																	
エ																																																	
オ																																																	
⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移																																																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>26年度(実績)</th> <th>27年度(実績)</th> <th>28年度(実績)</th> <th>29年度(実績)</th> <th>30年度(見込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 祭り参加者及び見物者数</td> <td>人</td> <td>230,000</td> <td>250,000</td> <td>270,000</td> <td>300,000</td> <td>300,000</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>エ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>オ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							名称	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)	ア 祭り参加者及び見物者数	人	230,000	250,000	270,000	300,000	300,000	イ							ウ							エ							オ							
名称	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)																																											
ア 祭り参加者及び見物者数	人	230,000	250,000	270,000	300,000	300,000																																											
イ																																																	
ウ																																																	
エ																																																	
オ																																																	

②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等		夏祭町会連合会、夏祭り実行委員会																																																
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか）		地域の連帯感と郷土愛を醸成し、観光客の誘客に繋げる。																																																
④結果（どんな結果（上位施策）に結びつけるのか）		夏祭りを通して地域のコミュニティと商店街が活性化して、真岡市の観光の振興を図る ・長計目標値（観光客入込数） H29 294万人 H30 297万人 H31 300万人																																																
⑥上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移		<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>26年度(実績)</th> <th>27年度(実績)</th> <th>28年度(実績)</th> <th>29年度(実績)</th> <th>30年度(見込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 真岡市を訪れた観光客数</td> <td>人</td> <td>2,865,281</td> <td>2,865,612</td> <td>2,912,127</td> <td>2,990,647</td> <td>3,000,000</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>エ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>オ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							名称	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)	ア 真岡市を訪れた観光客数	人	2,865,281	2,865,612	2,912,127	2,990,647	3,000,000	イ							ウ							エ							オ						
名称	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)																																												
ア 真岡市を訪れた観光客数	人	2,865,281	2,865,612	2,912,127	2,990,647	3,000,000																																												
イ																																																		
ウ																																																		
エ																																																		
オ																																																		

(2) 総事業費の推移

		単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)
投入量	事業費	財源内訳					
		国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	7,800	6,450	7,206	6,450
	事業費計(A)	千円	7,800	6,450	7,206	6,450	6,950
	人件費	正規職員従事人数	人	4	4	4	4
		延べ業務時間	時間	440	440	440	440
		人件費計(B)	千円	1,857	1,844	1,827	1,826
トータルコスト(A)+(B)		千円	9,657	8,294	9,033	8,276	8,776

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	昭和28年より荒町・田町・台町の3町が中心となり、地域主体の夏祭りとして町会の負担と行政の支援により実施した。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	荒町（寿町、泉町、旭町、桜町）、田町、台町、並木町で当番町会を持ち回りとし、お祭り広場を中心に地域住民の連帯感や商店会の活性化に大きく貢献することができている。お祭り広場会場が交通事情により、平成17年度から田町十字路を中心とした場所に固定化した。花火大会と同じ土曜日に開催して、花火大会の観客をお祭り広場に誘導した。 平成20年度より最終日の3日目は火と太鼓と勇壮なる神輿・山車の渡御を融合した「ザ・ファイナル」を実施し、最終日にも観客で賑わうよう図った。 平成21年度は合併記念として実施した。平成23年度は震災の影響により、花火大会を自粛したが、平成24年度に再開。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	平成26年度は市制施行60周年の年であり、記念事業に対する助成の要望があった。

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果（上位施策）に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 地域連帯感の向上や観光振興が図られ、市の施策に結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 地域の連帯感を培う方法として祭りは最適である。市を挙げての一大イベントであり、真岡の夏の風物詩として定着している。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 夏祭り町会連合会、夏祭り実行委員会を対象としており、適切である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 夏祭りを通して地域の連帯を図り、大幅な観客動員も図れ、市の一大観光事業となっているため向上の余地はない。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 伝統ある行事として長年実施されており、観光振興や市のイメージアップが図れなくなるため、影響がある。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある（類似の事務事業名を記載） <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ （仕様や工法の適正化、住民の協力など）	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 補助金を削減すると各町会の負担が大きくなり、実施が難しくなるため、削減余地はない。
	⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずに正社員以外の職員や委託でできないか（アウトソーシングなど）	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 補助金支出、会議等に係る必要最小限の人件費であり削減余地はない。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 夏祭り町会連合会は各町会から負担金を徴収しており、公平・公正である。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性（改革案・実行計画） <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し（ <input type="checkbox"/> ：目的妥当性 <input type="checkbox"/> ：有効性 <input type="checkbox"/> ：効率性 <input type="checkbox"/> ：公平性） <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果（事業の総括と事業の方向性）

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足（説明責任不充分） <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							